

小学校6年生 図画工作の学習

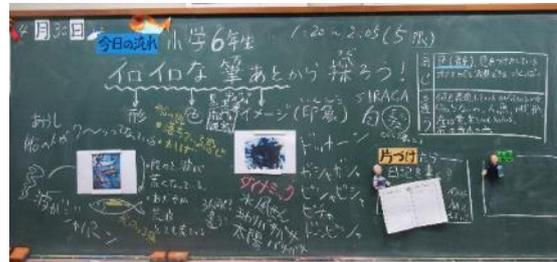
「墨で表そう！（4月）」



黒色の濃淡で表現をする墨の性質を理解して、描きたいものを自分で決めて表現しました。ふつうの筆だけでなく、竹やワラ、毛糸のできた筆、刷毛なども使ってオノマトペ（擬音語・擬態語）も入れて1枚の水墨画にしました。時間に余裕があったので、オノマトペ図鑑と消しゴムはんこで落款（らっかん）もつくりました。

「筆あと研究室（4月）」

白髪一雄さんの「荒波に揺れるいくつかの船や人が描かれた具体的な絵」と「筆ではなく、足で勢よく描かれた絵」を比べました。描き方の違う2枚の絵画からイメージをふくらませて鑑賞をしました。



「私たちの大切な風景

「ははじまのぼりをつくろう！（5月）」

1枚の大きな紙から母島に住む生きものをモチーフに「ははじまのぼり」をつくりました。2種類上の生き物をかけあわせた想像上の生き物も生まれました。



「くるくるクランク（5・6月）」

クランクの動く仕組みを理解して、箱をおもちゃに変身させました。友達とアイデアを交流させながら、空き箱の大きさや絵がらからアイデアをふくらませてオリジナルのおもちゃをつくりました。クランクの仕組みを試すために何度も動きを確認していました。



「想像のつばさを広げて 未来に残したい母島の姿（6・7月）」

色鉛筆、クレヨン、パステルの特性をいかして、母島のいくつかの風景を重ね合わせて絵に表しました。いろいろな画材を試しながら、友達同士でアイデアを共有したり、良いところを認め合う姿は、さすが6年生です。作品を見合うことで、つくることがさらに深まりました。

